

東通村の中心地活性化 東通村役場周辺について

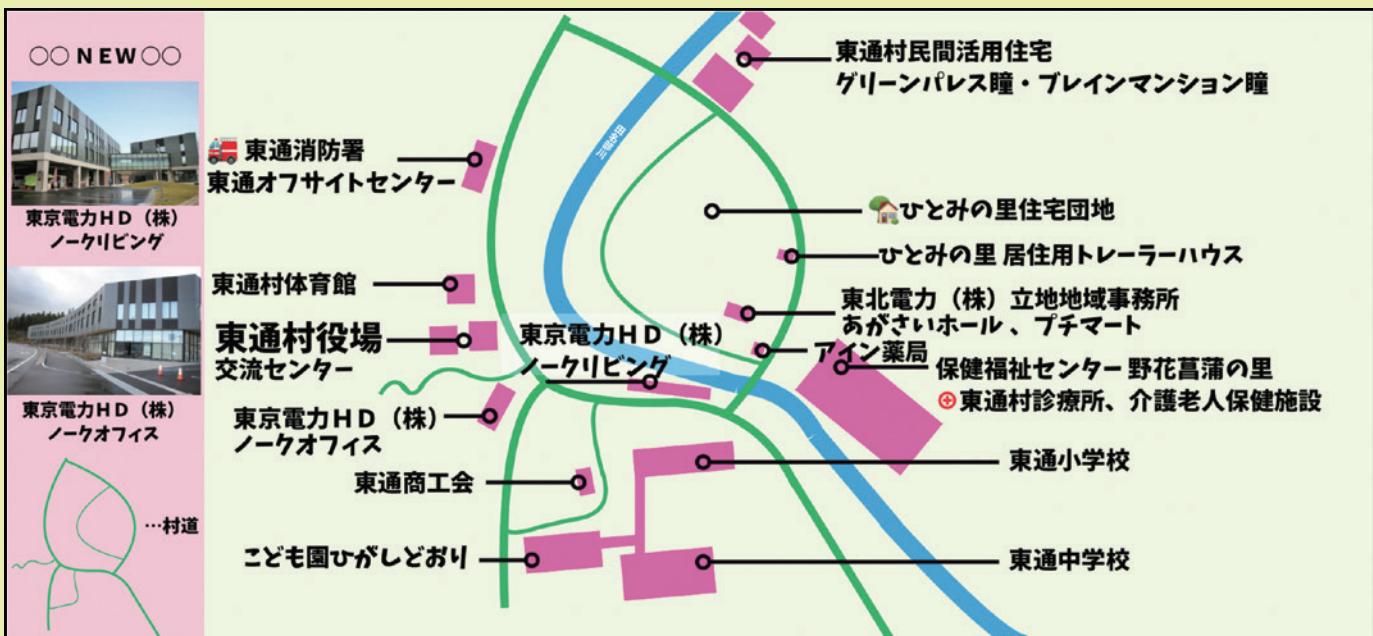


東通村役場の周辺には、学校や診療所、消防署等の公共施設や、ひとみの里住宅団地が集まっています。1988年、村の中心地へ役場の移転を機に、役場周辺は公共施設や住環境の整備が進められてきました。

近年では、移住希望者に便利な「ひとみの里居住用トレーラーハウス」が整備されたほか、東北電力(株)東通原子力発電所立地地域事務所や、立地地域事務所に併設された「あがさいホール」、小規模スーパー「プチマート」が加わりました。また、昨年12月からは、東京電力ホールディングス(株)の複合施設「nooqu(ノーク)」の運用が本格的に始まり、村の中心地は、地域の交流や生活の利便性が高まってきています。

役場では、周辺の各施設や関係機関と連携し、平時から災害時まで、村民の皆さんのが安心して暮らせる中心地活性化を進めていきます。

役場周辺マップ 2025年12月1日現在



nooqu(ノーク)ってどこ?

ノークとは、東京電力ホールディングス(株)青森事業本部の新たな拠点施設です。

小田野沢地区にある建設所に加え、砂子又地区に新設された建物です。東通村役場の南側に位置する建物がオフィス棟「ノーク オフィス」、東通小学校向かいに整備されたのが、宿舎機能を持つ「ノーク リビング」です。

この2棟には、地域クラブ活動の発表やイベントを行える屋内広場、読書を楽しめる「よりみちブック」といった無料で利用できる施設のほか、の～く食堂をはじめ、勉強や仕事に利用できるラウンジスペース、コインランドリー等があり、地域の賑わいづくりを図るため、住民の皆さんにも、一部有料で一般開放されています。

